定例記者会見発言録

日　　時：平成29年７日６日（木）14：00～14：35
場　　所：伊達市役所　２階　委員会室３
出　　席：市長、副市長、総務部長、市長直轄理事、財務部長、市民生活部長、産業部長
報道機関：朝日新聞社、共同通信社、河北新報社、福島民報社、福島民友新聞社、ＮＨＫ福島放送局

市　　長：別紙資料により説明
資料１　共助社会を目指すための「地域自治組織」の取り組み
～協働で進める魅力ある地域づくり～
資料２　長野県南牧村と友好交流都市協定を締結
資料３　伊達市特産物の消費拡大の取り組み
資料４　政宗ダテニクルで魅力発信！
公用車にプロモーションラッピング
資料５　伊達市田園回帰支援事業２０１７　～農業 in だて～
資料６　夏の主なイベント

《質疑応答》

「地域通貨」導入の進捗状況

記　者：「地域通貨」を当初７月に導入するということであったが、現在の進捗状況はどのようになっているのか。
市　長：導入に向けて議論を重ねているところ。「通貨」と聞くと、どうしてもお金や商品券発行と捉える方もいるかもしれないが、「地域通貨」はボランティアをしていただいたことの証で一定のお礼としての位置づけ。より分かりやすくするためにポイント制とすることも含め、どのような形とするかを議論している。また、モデルとして選んでいる地区で、どのように進めていくかを検討している。若干遅れているが、出来るだけ早く進めていきたい。

公用車のラッピングについて

記　者：ラッピングカーを見ての印象はどうか。
市　長：正直びっくりしたが、いろいろやってみるのは良いことだと思う。
記　者：アニメを使ったＰＲに取り組んでいるが、手ごたえはどうか。
市　長：クールジャパンではないが、アニメは、我々が考える以上に若い人に受け入れられやすい。アニメ映画を作ると、チラシや広告宣伝などのＰＲをしていないのに九州からも来てくれる。このようなことをやってみて、ＳＮＳの効果を初めて実感した。歴史物語であるアニメ「政宗ダテニクル」を通じて、伊達市や市の歴史を知っていただくことが狙い。若い職員が中心になって取り組んでいるが、今の時流に合っているのではないかと思う。

記　者：公用車ラッピングによるＰＲの期待はどうか。

市　長：過去にＡＫＢ48から寄贈されたラッピング車両で、新潟県へ視察に行った時に現地で注目を受けた。この時は文字だけのラッピングでも注目されたが、今回はアニメキャラクターが全面にラッピングされた車両なので、相当のＰＲ効果があると思う。